

AOI MORI SHINKIN REPORT

青い森しんきんの現況

2025年3月期

2024年4月1日▶2025年3月31日

2025

ミニディスクロージャー



青い森信用金庫



Face to Face



ごあいさつ

理事長

益子 政士

皆様には、平素より青い森信用金庫に対しまして、格別のご理解とお引き立てを賜り心より厚く御礼申し上げます。

本年も、当金庫の経営方針をはじめ、業務内容、財務内容、地域貢献活動等の事業活動をお伝えるためのディスクロージャー誌「青い森しんきんの現況2025」を作成いたしましたので、ご高覧いただき、当金庫をより一層身近な金融機関としてご理解いただければ幸いに存じます。

さて、2024年の青森県経済を振り返ってみますと、過去最多となる大型クルーズ船の寄港やコロナ禍以降運休していた青森・ソウル線及び青森・台北線の国際定期便の運航再開などに伴うインバウンドを中心とした観光需要の高まりに加え、春闘における賃上げ率が30年ぶりに3%を超える高水準となったことなどが経済回復の下支えとなりました。一方、エネルギー価格や物価高騰、労働力不足などが県内企業の経営を圧迫しており、全国同様に給与・賃金の伸びが物価の伸びを下回る状況が続いております。

県内事業者にとりましては、先行きの不透明感が高まる中、コスト増加分の価格転嫁や人材の確保が急務となっており、これらの経営課題に対し、より一層スピード感を持って対応していくことが求められています。また、米トランプ政権の関税政策や、中東情勢の不安定化により世界経済の不確実性が高まっており、今後の動向を注視していく必要があります。

こうした情勢のもと、2024年度決算においては、地域の皆様の信頼に応えるため、経営の効率化や健全化に努めた結果、後掲通りの業績をおさめることができました。これもひとえに総代および会員の皆様をはじめ、お取引先各位のご理解とご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

2025年度も引き続き不透明な状況が続くことが予想されますが、役職員一丸となりお客様の抱える課題解決に共に取り組み、地域社会の持続的な発展に寄与してまいります。

何とぞ今後とも相変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の一層のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げ、ごあいさつといたします。

2025年7月

経営の基本方針

青い森信用金庫は 次に掲げる基本方針によって経営する

すべての業務活動は基本方針を実現するために行われるものであり、
役職員はこの方針に従い、それぞれの職責を自覚し、その実現に努めなければならない。

01 地域社会に対する貢献

一般大衆ならびに中小企業のための専門金融機関として、金融面から地域社会の発展、地域住民の繁栄に貢献する。

02 調和のある経営

経営活動の基盤は会員、取引者ならびに役職員であり、そのいずれに対しても公正で調和のとれた経営を行う。

03 経営の安定と発展

常に創意と工夫によって、経営の質的向上と合理化を図り、適正な利益の確保と内部蓄積の充実に努める。

金庫訓

青い森信用金庫では、地域のお客さまとの“笑顔”を大切にし、“お客さま第一”での接客応対を目指しております。地域のお客さまから、より一層の“笑顔”をいただけるよう、次のとおり金庫訓「私たちの誓い」を掲げ、役職員一同行動してまいります。

私たちの誓い

1. 私たちの仕事は、お客様に「笑顔」を届けることです
1. 私たちの仕事は、お客様から「笑顔」をいただくことです
1. 私たちの使命は、地域を「笑顔」にすることです

当金庫のプロフィール

(2025年3月31日現在)

創 立	大正11年12月27日
本店所在地	青森県八戸市大字八日町18番地
出資金	88億8,401万円(優先出資含む)
会員数	70,240名
常勤役職員数	396名
店舗数	37店舗(出張所含む)
営業地区	青森県、秋田県鹿角市のうち 十和田および鹿角郡小坂町



2024年度業績の概要

預 金

預金残高 **6,307** 億円

預金残高は、前期末比114億円増加し6,307億円となりました。

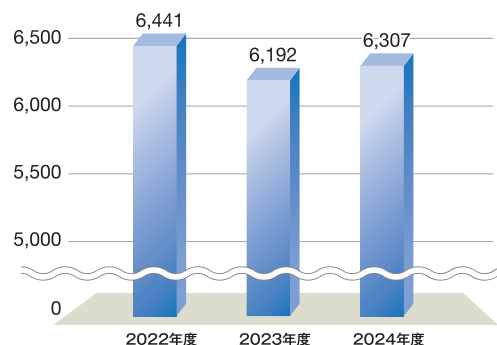
内訳は要払性預金が230億円増加、定期性預金が115億円の減少となりました。

要払性預金は個人預金が72億円増加、法人預金では157億円の増加となりました。

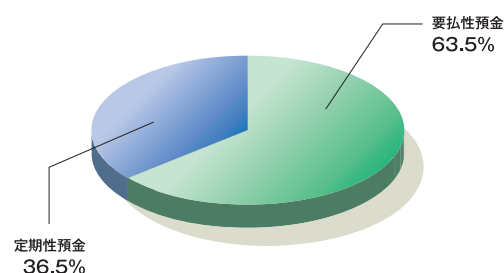
定期性預金は、要払性預金へのシフト等が進み個人預金が108億円減少、法人預金が7億円減少となりました。

●預金残高推移 ※譲渡性預金含む

(単位:億円)



●預金残高構成 (2024年度)



貸 出 金

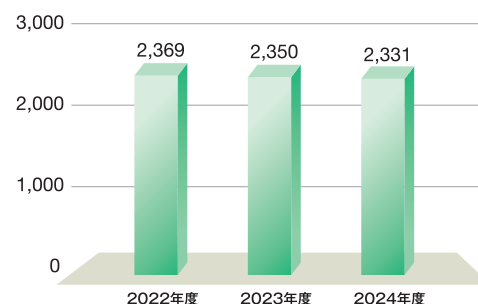
貸出金残高 **2,331** 億円

貸出金残高は、前期末比18億円減少し2,331億円となりました。個人資金は13億円増加しましたが、事業資金が15億円減少し、地方公共団体向け貸出は16億円減少しました。

業種別では、卸売業・小売業で7億円増加、飲食業で6億円増加、金融保険業で4億円増加となりましたが、建設業で21億円減少、不動産業で11億円がそれぞれ減少しております。

●貸出金残高推移

(単位:億円)



2025年3月末現在貸出金残高の構成

総貸出金 233,173百万円の内訳

事業者へのご融資…………… 134,877百万円
うち設備資金…………… 55,972百万円
うち運転資金…………… 78,905百万円

個人へのご融資…………… 71,901百万円
うち住宅資金…………… 47,376百万円
うち消費資金…………… 24,524百万円

地方公共団体へのご融資…………… 26,394百万円

当金庫の2025年3月末の預貸率は **36.96%** です。

有価証券

有価証券残高 **1,479** 億円

有価証券残高は、日本銀行の金融政策の転換により市場環境が大きく変化したことを受けて、大幅なポートフォリオの見直しを行ったことから、前期末比144億円減少し1,479億円となりました。内訳を見ると、外国証券が50億円、投資信託が18億円の増加となりましたが、国債が126億円、社債が99億円の減少などとなりました。

預け金等を含めた余資運用資金全体の残高は前期末比60億円増加し4,044億円となりました。

損益

当期純利益 **9億95** 百万円

経常収益は、貸出金利息収入、預け金利息収入、国債等債券売却益が増加した一方で、有価証券利息配当金や貸倒引当金が戻入から繰入に転じたことなどから前期末比2百万円減少し93億6百万円となりました。

経常費用は、預金利息や貸倒引当金繰入額が増加となりましたが、経費や国債等債券売却損が減少したことなどから前期末比2億39百万円減少し80億83百万円となりました。

これにより経常利益は前期末比2億37百万円増加し12億22百万円となりました。当期純利益は、経常利益が増加したことに加え、減損損失が減少したことなどから、前期末比1億87百万円増加し9億95百万円となりました。

自己資本

自己資本比率 **11.22%**

自己資本比率計算の分子にあたる自己資本額は、当期純利益金からの積み上げにより、前期末比6億円増加し270億円となりました。

分母にあたるリスク・アセットは、今期よりバーゼルⅢが完全適用となった結果、コミットメントラインの与信枠10%が加算されたこと等から、前期末比48億円増加の2,406億円となりました。以上の通り、リスク・アセットの増加割合を自己資本額の増加割合が上回ったことから、自己資本比率は前期末比0.06ポイント上昇し11.22%となりました。

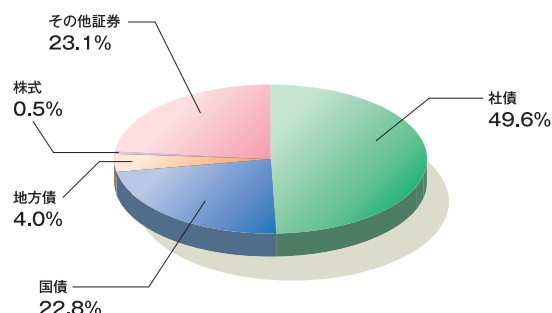
自己資本比率の国内基準である4%を大きく上回る水準を引き続き確保しております。

●有価証券残高推移

(単位:億円)

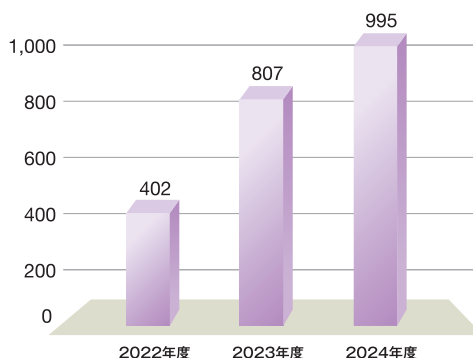


●有価証券残高構成 (2024年度)



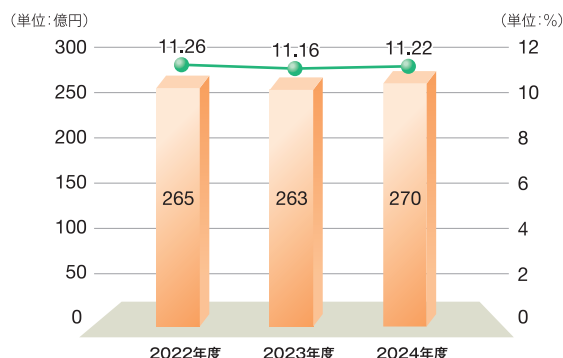
●当期純利益推移

(単位:百万円)



●自己資本推移

■自己資本額 ●自己資本比率



財務諸表

● 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	金 額	
	第101期 2024年3月31日現在	第102期 2025年3月31日現在
(資 産 の 部)		
現 金	8,865	12,072
預 け 金	222,449	241,999
買 入 金 銭 債 権	9,611	10,587
有 価 証 券	162,407	147,974
国 債	46,283	33,675
地 方 債	4,687	5,860
社 債	83,335	73,416
株 式	436	713
その他の証券	27,663	34,308
貸 出 金	235,000	233,173
割 引 手 形	1,453	631
手 形 貸 付	19,121	19,366
証 書 貸 付	192,257	189,305
当 座 貸 越	22,169	23,870
そ の 他 資 産	5,180	4,969
未 決 済 為 替 貸	128	65
信金中金出資金	3,919	3,919
未 収 収 益	774	790
その他の資産	357	194
有 形 固 定 資 産	7,374	6,977
建 物	2,561	2,395
土 地	4,385	4,212
リ ー ス 資 産	7	6
その他の有形固定資産	420	362
無 形 固 定 資 産	120	94
ソ フ ト ウ ェ ア	81	55
その他の無形固定資産	38	38
前 払 年 金 費 用	859	1,016
繰 延 税 金 資 産	177	189
債 務 保 証 見 返	407	265
貸 倒 引 当 金	△ 8,790	△ 8,544
(うち個別貸倒引当金)	△ 7,253	△ 7,034
資 産 の 部 合 計	643,663	650,774

(単位：百万円)

科 目	金 額	
	第101期 2024年3月31日現在	第102期 2025年3月31日現在
(負 債 の 部)		
預 金 積 金	617,930	630,735
当 座 預 金	9,690	9,838
普 通 預 金	364,619	371,344
貯 蓄 預 金	561	506
定 期 預 金	225,613	217,836
定 期 積 金	14,648	12,180
その他の預金	2,796	19,027
譲 渡 性 預 金	1,328	—
借 用 金	712	662
借 入 金	712	662
そ の 他 負 債	994	1,030
未 決 済 為 替 借	206	132
未 払 費 用	134	219
給付補填備金	9	3
未 払 法 人 税 等	12	11
前 受 収 益	110	123
払 戻 未 済 金	89	85
資産除去債務	284	284
その他の負債	148	169
賞 与 引 当 金	244	243
役員退職慰労引当金	94	96
睡眠預金払戻損失引当金	16	12
偶 発 損 失 引 当 金	68	65
再評価に係る繰延税金負債	213	213
債 務 保 証	407	265
負 債 の 部 合 計	622,010	633,324
(純 資 産 の 部)		
出 資 金	8,923	8,884
普 通 出 資 金	3,923	3,884
優 先 出 資 金	4,000	4,000
その他の出資金	1,000	1,000
利 益 剰 余 金	16,811	17,672
利 益 準 備 金	3,359	3,479
その他利益剰余金	13,452	14,193
特 別 積 立 金	12,312	13,012
(うち優先出資消却積立金)	2,791	3,491
(うち経営安定化積立金)	1,900	1,900
当期末処分剰余金	1,139	1,180
処 分 未 済 持 分	△ 3	△ 0
会 員 勘 定 合 計	25,732	26,556
その他有価証券評価差額金	△ 4,513	△ 9,540
土 地 再 評 価 差 額 金	434	434
評価・換算差額等合計	△ 4,078	△ 9,105
純 資 産 の 部 合 計	21,653	17,450
負債及び純資産の部合計	643,663	650,774

● 財務諸表の適正性・内部監査の有効性確認

2024年度における貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書(以下「財務諸表」という。)並びに財務諸表作成に係る内部監査等について適正性・有効性等を確認しております。

2025年6月16日

青い森信用金庫

理事長 益子 政士

○ 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	
	第101期 (2023年4月1日～ 2024年3月31日)	第102期 (2024年4月1日～ 2025年3月31日)
経 常 収 益	9,309,285	9,306,597
資 金 運 用 収 益	6,645,501	6,847,680
貸 出 金 利 息	4,677,750	4,775,277
預 け 金 利 息	511,457	771,361
有価証券利息配当金	1,337,509	1,174,008
その他の受入利息	118,784	127,032
役 務 取 引 等 収 益	1,003,897	1,048,445
受入為替手数料	261,067	258,617
その他の役務収益	742,829	789,828
そ の 他 業 務 収 益	836,617	1,353,371
国債等債券売却益	779,893	1,301,280
その他の業務収益	56,723	52,090
そ の 他 経 常 収 益	823,269	57,099
貸倒引当金戻入益	787,381	—
償却債権取立益	16,307	31,697
株 式 等 売 却 益	13,747	19,533
その他の経常収益	5,833	5,868
経 常 費 用	8,323,677	8,083,830
資 金 調 達 費 用	20,286	165,622
預 金 利 息	15,491	161,941
給付補填備金繰入額	1,417	637
譲渡性預金利息	143	35
借 用 金 利 息	3,233	3,007
役 務 取 引 等 費 用	928,376	931,745
支払為替手数料	72,827	75,664
その他の役務費用	855,549	856,080
そ の 他 業 務 費 用	2,358,167	1,569,644
国債等債券売却損	2,309,883	1,568,167
国債等債券償還損	41,760	—
その他の業務費用	6,524	1,477
経 費	4,994,287	4,857,837
人 件 費	2,948,696	2,852,641
物 件 費	1,849,464	1,807,918
税 金	196,126	197,276
そ の 他 経 常 費 用	22,558	558,980
貸倒引当金繰入額	—	558,584
貸 出 金 償 却	—	4
その他の経常費用	22,558	391
経 常 利 益	985,608	1,222,766

(単位：千円)

科 目	金 額	
	第101期 (2023年4月1日～ 2024年3月31日)	第102期 (2024年4月1日～ 2025年3月31日)
特 別 利 益	48	34,564
固定資産処分益	48	34,564
特 別 損 失	285,449	251,832
固定資産処分損	13,996	124,298
減 損 損 失	271,452	127,533
税引前当期純利益	700,207	1,005,497
法人税、住民税及び事業税	12,080	13,371
法人税等調整額	△ 119,806	△ 3,775
法 人 税 等 合 計	△ 107,726	9,596
当 期 純 利 益	807,933	995,901
繰越金(当期首残高)	193,518	185,081
土地再評価差額金取崩額	138,015	—
当期末処分剰余金	1,139,467	1,180,983

○ 剰余金処分計算書

(単位：円)

科 目	金 額	
	第101期 (2023年4月1日～ 2024年3月31日)	第102期 (2024年4月1日～ 2025年3月31日)
当期末処分剰余金	1,139,467,605	1,180,983,102
剰 余 金 処 分 額	954,386,086	953,331,655
利 益 準 備 金	120,000,000	120,000,000
普通出資に対する配当金	78,386,086	77,331,655
優先出資に対する配当金	56,000,000	56,000,000
特 別 積 立 金	700,000,000	700,000,000
(うち優先出資消却積立金)	(700,000,000)	(700,000,000)
繰越金(当期末残高)	185,081,519	227,651,447

(注) 第102期の普通出資に対する配当金は年2.00%の割合、優先出資に対する配当金は年0.70%の割合

○ 会計監査人監査

2024年度の計算書類については、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、北光監査法人の監査を受けております。

これまでも、これからも、地元のために頑張ります。

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、青森県内、秋田県北の一部(注)を営業基盤とする地元の中小企業や住民が会員になって、お互いに発展していく事を共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金(預金)は、地元で資金を必要とするお客様にご融資を行って、事業や生活の繁栄

のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、文化・スポーツ、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

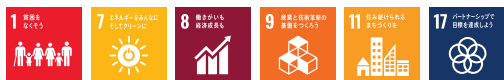
(注) 秋田県鹿角市のうち十和田及び鹿角郡小坂町が営業地区となります

※各計数は2025年3月31日現在



中小企業の経営支援のための取り組み

地域経済



当金庫は、地域経済が抱える課題の解決に向けた取り組みを強化するとともに、外部機関とパートナーシップを結び、共有価値を創造することにより、地域経済の振興に貢献してまいります。

中小企業の経営支援に関する取り組み方針

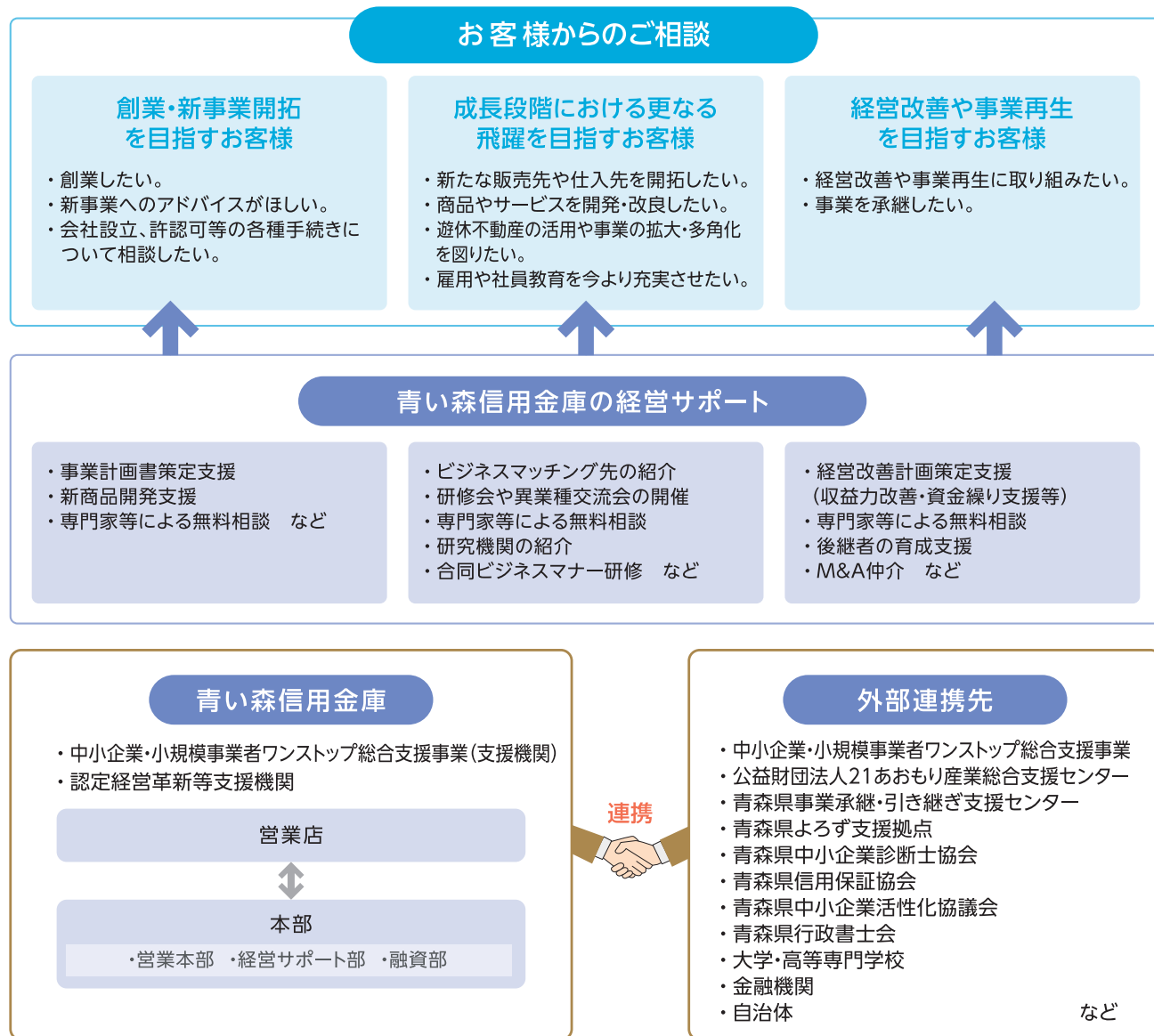
当金庫は創立以来「地域のみなさまの繁栄と豊かな暮らしづくりのお手伝い」を経営理念とし、地域と共に歩んでまいりました。地域社会の持続的発展に貢献することは事業地域が限定された協同組織金

融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。当金庫は、お客様の抱えている課題、問題点に対して、その解決に向けて真摯に取り組み、地域社会の発展に全力で取り組んでまいります。

当金庫の支援態勢

お客様の事業に関する様々なニーズにお応えできるよう、外部機関と連携しながら、営業店、本部が一体となった支援体制を構築しております。また、当金庫は「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」に支援機関として参画し、個別企業に対する外部専門家派遣により様々な課題解決を支

援しているほか、中小企業経営力強化支援法に基づく「認定経営革新等支援機関」として、経営状況に関する調査・分析、事業計画の策定や経営改善・創業支援に係わる指導及び助言などの支援活動も実施しております。



中小企業の経営支援に関する取り組み状況

●ビジネスマッチングフェアへの参加

夢メッセみやぎで開催される「ビジネスマッチ東北2024」や東京ビッグサイトで開催される「2024“よい仕事おこし”フェア～地域を応援!信用金庫がつなぐ大商談会～」への参加により販路開拓の機会を提供しております。これまでに複数の食品加工業者が首都圏百貨店と取引開始となるなど成果をあげております。



ビジネスマッチ東北2024の開催風景

地域の環境保全のための取り組み

地域環境



当金庫は、役職員一丸となり、地域の環境保全に積極的に取り組みます。また、環境に配慮した事業活動を行うことにより、地元の豊かな自然環境を次世代につなぎます。

各地区での清掃奉仕活動

●奥入瀬渓流付近清掃奉仕活動

十和田地区の重要な観光資源である奥入瀬渓流付近の清掃奉仕活動を実施しました。
(2024年7月6日(土)実施)

●弘前・津軽地区清掃奉仕活動

津軽地区で重要な観光資源である津軽富士見湖付近の清掃奉仕活動を実施しました。
(2024年9月7日(土)実施)

●下北地区清掃奉仕活動

地域貢献活動の一環として、下北地区にて清掃奉仕活動を実施しました。
(2024年9月7日(土)実施)

●青森地区清掃奉仕活動

青森市内中心部にある合浦公園の清掃奉仕活動を実施しました。
(2024年10月26日(土)実施)

●三陸復興国立公園種差海岸清掃奉仕活動

八戸地区の重要な観光資源である三陸復興国立公園種差海岸の清掃奉仕活動を実施しました。
(2024年10月26日(土)実施)



合浦公園の清掃奉仕活動の実施風景



三陸復興国立公園種差海岸清掃奉仕活動の実施風景

地域活性化のための取り組み

地域社会



当金庫は、経営の基本方針である「地域社会に対する貢献」に基づき、地域の「まちづくり・ひとづくり・しごとづくり」に取り組みます。また、多様な人材が活躍できる職場環境の整備に努めます。

地域社会に対する貢献

●交通安全読本の寄贈

2024年4月4日(木)三菱製紙八戸工場と共同で、八戸地区交通安全協会に「母と子の交通安全読本」2200部を贈呈しました。読本の贈呈活動は1969年から続けており、贈呈冊数は今回を含め累計23万3560冊となりました。読本は八戸市、階上町、五戸町、六戸町、おいらせ町、新郷村の6市町村にある小学校58校の2024年度新1年生に配布されました。



交通安全読本の贈呈風景

●あおもりフードバンクへの食料品等の寄贈

SDGs活動の取組みと合併15周年記念事業の一環として、役職員が家庭にある食料品などを持ち寄り、社会福祉法人青森県社会福祉協議会が行う「あおもりフードバンク」へ食料品等を寄贈しました。



集められた食料品等

総代会

総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、剰余金処分の決定、定款の変更、理事・監事

の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代(会員の代表)により運営されます。

また、当金庫では総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代会の議案について

総代会では、以下に掲げる事項を議案として付議される事になっております。

- ①決算関係書類の報告、承認 ②役員を選任
- ③定款の変更 ④その他重要事項の決定

尚、2025年6月13日に開催された第102期通常総代会における付議事項は、下記のとおりです。



第102期通常総代会の開催風景

【報告事項】

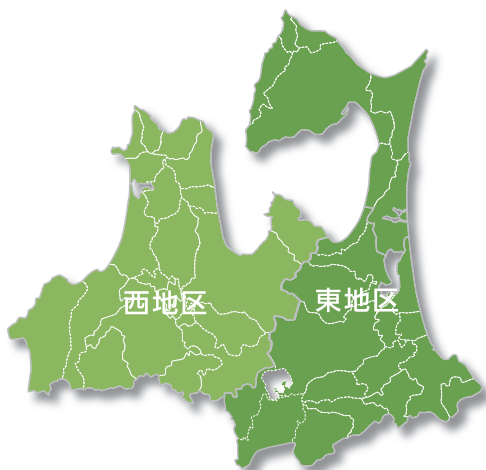
1. 監事による監査報告
2. 第102期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告

【決議事項】

- 第1号議案…第102期剰余金処分案承認の件
- 第2号議案…定款の一部変更の件
 - 1. 従たる事務所廃止に関する件
- 第3号議案…優先出資の一部買入消却の件
- 第4号議案…会員の除名承認の件
- 第5号議案…理事の退任に伴う選任の件
- 第6号議案…監事の任期満了に伴う選任の件
- 第7号議案…退任理事及び退任監事に対する退職慰労金贈呈の件

総代会の概要図

(2025年4月1日現在)



総代会 (最高決議機関)

会員の総意を適正に反映するための制度

- 議決権 一人一票
- 出席会議
 - ①通常総代会 毎年6月
 - ②臨時総代会 必要により随時
 - ③総代懇談会 毎年11月

選任地区	東地区	西地区	合計
総代定数 (現在数)	138名 (138名)	42名 (42名)	180名 (180名)
選考委員	14名	4名	18名
会員数	40,994名	29,246名	70,240名

(注)会員数は2025年3月31日現在の人数です。

役員・組織図

役員・執行役員一覧

(2025年6月13日現在)



役員

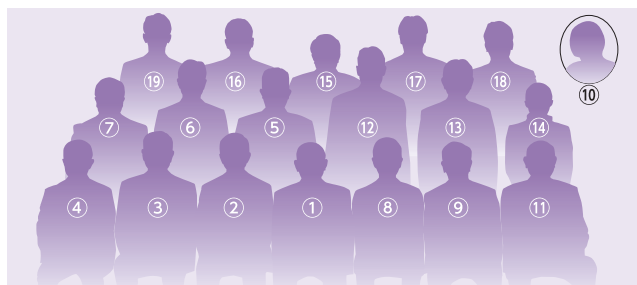
(2025年6月13日現在)

役職名	代表非代表	常勤非常勤	氏名	写真番号
理事長	代	常	益子政士	①
副理事長	代	常	橋本善太	②
常務理事	非	常	今鶴富	③
常務理事	非	常	萬代治郎 ※1	④
理事	非	常	月舘智輝	⑤
理事	非	常	岡崎俊雄	⑥
理事	非	常	高木淳	⑦
理事	非	非	稲本修明 ※1	⑧
理事	非	非	八戸信一 ※1	⑨
理事	非	非	三浦朋子 ※1	⑩
理事	非	非	高林秀典 ※1	⑪
監事	非	常	長嶺健一	⑫
監事	非	非	村舘珠樹 ※2	⑬
監事	非	非	桃野みどり ※2 (大坂みどり)	⑭

※1 職員外理事です。 ※2 信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

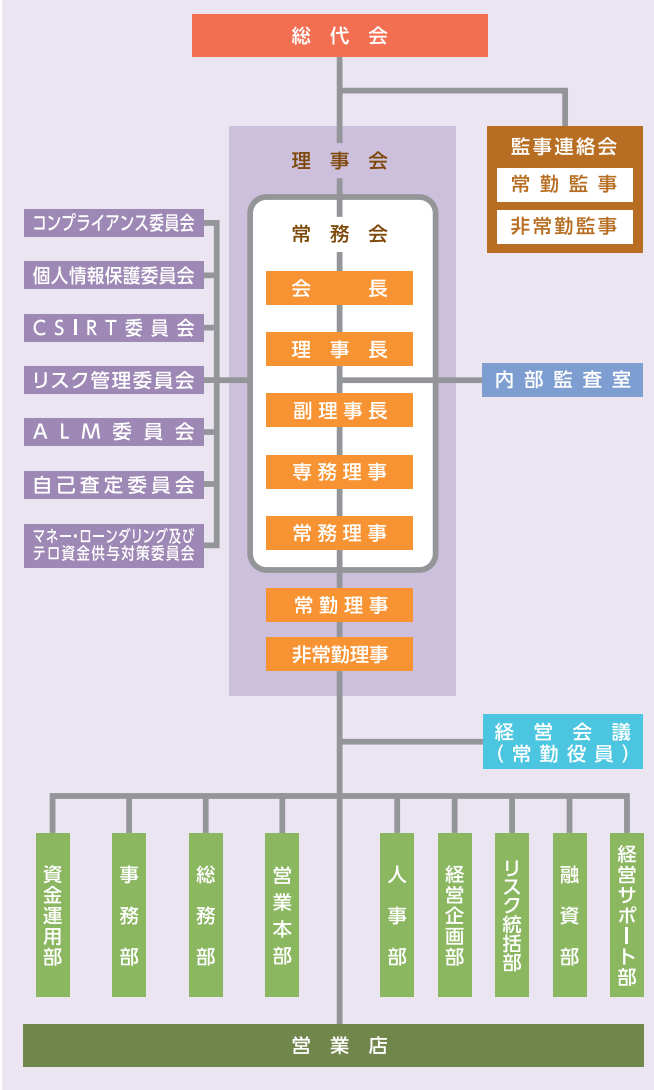
執行役員

役職名	氏名	写真番号
執行役員 融資部長	奥川隆一	⑮
執行役員 リスク統括部長	松本紀信	⑯
執行役員 内部監査室長	木村修正	⑰
執行役員 本店営業部長	根城秀樹	⑱
執行役員 資金運用部長	木立嘉志	⑲



青い森信用金庫組織機構図

(2025年6月13日現在)



Q&A お客様のご質問にお答えします

～もっと身近に、もっと知って欲しいから～

お客様のご質問にお答えします



Q 「青い森しんきん」の2024年度決算の内容はどうか。

A 前年度より減収・増益となり、当期純利益は9億95百万円を計上しました。

2024年は、訪日外国人数が過去最多を更新するなど、特にインバウンド需要による経済の回復が見られた一方で、給与・賃金の伸びが物価の伸びを下回る状況が続き、個人消費は力強さを欠いたままの状態となりました。青森県内においても、エネルギー価格や物価高騰、労働力不足などが、企業の経営を圧迫するなど、県内経済に多くの影響を与えました。

このような中、青い森信用金庫は影響を受けたお客様に対し、補助金申請などの経営支援や資金繰り支援等を積極的に行ったほか、かねてより進めてまいりました経費削減等の経営努力を重ねた結果、堅実な経営を維持できる収益を確保することができました。

当期純利益については、前年計上した貸倒引当金戻入益が信用コストの増加に伴い繰入に転じたものの、貸出金利息、預け金利息、役務取引等収益、国債等債券売却益等の増加により増益となりました。

利益金につきましては、会員の皆様に対して、配当率2%、金額で77百万円を配当したほか、優先出資に対する配当金として56百万円を充当しました。その他の利益金については、優先出資消却積立金へ7億円を充当しました。

この結果、青い森信用金庫の自己資本額は270億円となりました。

Q 「青い森しんきん」の自己資本比率は怎么样了か？

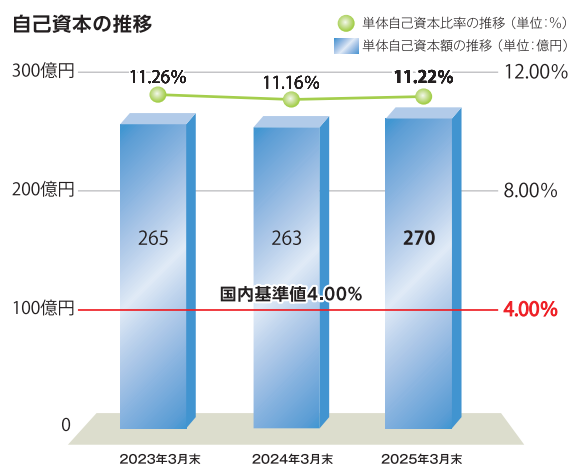
A 自己資本比率は11.22%となり、国内基準の2倍を超える水準を維持しております。どうぞ安心して“青い森しんきん”とお付き合いください。

自己資本比率は、金融機関の「健全性」を示す重要な経営指標です。比率が高ければ高いほど、財務の安全性・健全性が高く経営基盤が安定していると言えます。

2025年3月期の当金庫の自己資本比率は、分子となる自己資本額が、内部留保の積み増し等により前年比6億93百万円増加したこと等から、自己資本比率は11.22%となりました。この比率は、国内のみで業務を行う金融機関の基準値(4%)の2倍を超える健全性を確保しているばかりでなく、大手銀行や地方銀行など海外業務を行う金融機関の基準値である8%を上回る水準を堅持しています。

今後も堅実経営に徹し、地道に自己資本の充実を図り強固な経営体質を築いて、お客様の信頼を第一に安心してご利用いただける地域金融機関を目指してまいります。

自己資本の推移



Q 「青い森しんきん」の不良債権の状況はどうなっていますか？

A ご安心下さい。不良債権の引当てには、万全を期しております。 “青い森しんきん”は健全経営を第一に取り組んでおります。

金融機関の最大のリスクは、貸出金の回収が困難になる「信用リスク」です。

いわゆる「不良債権」とは、金融機関が行った融資が約束どおりに返済されず、今後も返済の目途が立っていない融資のことをいいます。

2025年3月期における当金庫の不良債権の状況は、下記の表のとおりです。

信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権では、破産更生債権及びこれらに準ずる債権についての全てを引当てしているほか、その他の不良債権についても最大限の引当を実施しております。これにより、開示債権に対しての担保・保証等による回収見込み額と貸倒引当金

を含めた保全額の割合である保全率は、93.86%となっております。さらに、企業業績に応じたキャッシュフローによる債権の回収見込額を含めると、実質的な不良債権はゼロとなります。

このように、当金庫の「信用リスク」は極めて低い水準にあり、経営の健全性は高く、お客様に自信をもってご選択・ご理解いただけるものと信じております。

今後とも健全融資の原則に則った厳正な審査と信用リスク管理を一層強化し、不良債権の発生防止と回収に全力を傾け、皆様のご信頼に応えてまいります。

2025年3月末 信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円)

区 分	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権
債 権 残 高 (1)	5,360	9,770
担保・保証等による回収見込額 (2)	1,952	5,437
キャッシュフローによる回収見込額 (3)		223
過去の貸倒実績率からみた予想回収額 (4)		492
回収に懸念がある債権額 (5)=(1)-(2)-(3)-(4)	3,407	3,616
個別貸倒引当金 (6)	3,407	3,616
実質的な不良債権 (7)=(5)-(6)	0	0

区 分	要管理債権	うち三月以上延滞債権	うち貸出条件緩和債権	合 計
債 権 残 高 (1)	499	34	465	15,630 (a)
担保・保証等による保全額 (2)	175	30	145	7,565 (b)
キャッシュフローによる回収見込額 (3)				223 (c)
過去の貸倒実績率からみた予想回収額 (4)	244	3	241	736 (d)
貸倒実績率からみた予想損失額 (4)=(1)-(2)-(3)	80	0	79	7,104 (e)=(a)-(b)-(c)-(d)
一般貸倒引当金 (5)	80	0	79	7,104 (f)
実質的な不良債権 (6)=(4)-(5)	0	0	0	0 (g)=(e)-(f)

Q 「青い森しんきん」の店舗計画はどうなっていますか？

A 2025年度は1店舗の移転と3店舗の店舗統合を実施いたします。

●店舗移転について

店舗の老朽化等を理由として、以下店舗を移転いたします。
なお、ATMにつきましても移転後の店舗へ移設いたします。

対象店舗
津軽営業部板柳出張所
移転先
板柳町福祉センター内 住所／青森県北津軽郡板柳町板柳土井239-3
移転日
2025年10月6日(月)



●店舗統合について

地域の人口減少や、金融業務への異業種の参入などにより、地域金融機関の経営環境は大きく変化しています。また、地域金融機関の果たすべき役割は変化し、従来型の金融サービスの提供に加え、個人のお客様へのライフプランのご提案や事業を営んでいるお客様への経営支援などのコンサルティング業務の重要性が高まっております。

このような経営環境の中、当金庫は店舗戦略を再構築することで、経営体質の強化を図ると同時にお客様のニーズに合わせたサービス

のご提供に、より多くの経営資源を振り向けていくものです。

2025年度は下記3店舗の店舗統合を実施いたします。店舗統合に当たりましては、取引支店名の変更等のお手続きが必要な場合もございますが、できるだけご迷惑をおかけしないよう最善を尽くしてまいります。何卒、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、店舗統合後も当面はATMの営業を継続いたします。

業務移管店	業務承継店	統合日
穂並支店	十和田営業部	2025年11月10日(月)
黒石支店浪岡出張所	黒石支店	
大間支店	下北営業部	

店舗のご案内(37店舗)

(2025年7月1日現在)

店名	住所	電話番号
本店営業部	〒031-0086 八戸市大字八日町1-8	0178-44-3321
湊支店	〒031-0802 八戸市小中野八丁目12-26	0178-22-1151
※本店営業部浪岡出張所	〒031-0001 八戸市大字類家字縄手下1	0178-22-1161
白銀支店	〒031-0822 八戸市大字白銀町字三島上26-1	0178-33-1511
※鮫支店	〒031-0841 八戸市大字鮫町字住吉町13-1	0178-33-1521
※廿三日町支店	〒031-0041 八戸市大字廿三日町40-2	0178-22-6165
※八戸桔梗野支店	〒039-2241 八戸市大字市川町桔梗野35-65	0178-28-3231
※類家支店	〒031-0802 八戸市小中野二丁目8-21	0178-43-7211
※沼館支店	〒031-0072 八戸市城下四丁目4-26	0178-44-5131
※根城支店	〒039-1166 八戸市根城五丁目2-1	0178-44-5001
※八戸駅通支店	〒039-1101 八戸市大字尻内町字八百刈12-1	0178-27-0511
河原木支店	〒039-1164 八戸市下長一丁目18-25	0178-20-2121
※中居林支店	〒031-0002 八戸市大字中居林字蓋名池3-3	0178-96-5041
※新井田支店	〒031-0813 八戸市大字新井田字山道19-1	0178-25-2151
※南類家支店	〒031-0004 八戸市南類家二丁目2-2	0178-44-7007
十和田営業部	〒034-0082 十和田市西二番町4-1	0176-23-3111
三沢支店	〒033-0001 三沢市中央町四丁目11-42	0176-53-4131
※六戸支店	〒039-2371 上北郡六戸町大字犬落瀬字後田50-5	0176-55-3131
※穂並支店	〒034-0084 十和田市西四番町2-2	0176-22-1110
※大学通支店	〒034-0016 十和田市東十二番町21-16	0176-22-8711

店名	住所	電話番号
※おいらせ支店	〒039-2136 上北郡おいらせ町中下田135-11	0178-56-2880
青森営業部	〒030-0823 青森市橋本二丁目12-3	017-732-2223
※黒石支店浪岡出張所	〒038-1311 青森市浪岡大字浪岡字若松70-1	0172-62-3121
※黒石支店	〒036-0302 黒石市大字油横丁7-1	0172-52-2227
弘前営業部	〒036-8035 弘前市大字百石町1-1	0172-32-3421
※弘前駅前支店	〒036-8002 弘前市大字駅前三丁目1-2	0172-33-3133
※八重田支店	〒030-0912 青森市八重田四丁目1-10	017-736-7888
※城東支店	〒036-8093 弘前市大字城東中央三丁目1-1	0172-26-1600
※金沢支店	〒030-0852 青森市大字大野字金沢5-48	017-762-2100
※安原支店	〒036-8164 弘前市大字泉野一丁目5-2	0172-87-0600
※佃支店	〒030-0963 青森市中佃二丁目19-34	017-743-1231
※篠田支店	〒038-0011 青森市篠田二丁目19-31	017-781-2862
※津軽営業部板柳出張所	〒038-3662 北津軽郡板柳町大字板柳字土井108-1	0172-73-2211
津軽営業部	〒037-0063 五所川原市字大町508-10	0173-35-2323
※金木支店	〒037-0202 五所川原市金木町朝日山195-3	0173-53-2125
下北営業部	〒035-0073 むつ市中央二丁目5-22	0175-33-0238
※大間支店	〒039-4601 下北郡大間町大字大間字冷水3-7	0175-37-2228

◆窓口営業時間のお知らせ
平日/9:00～15:00
(※)表示の店舗では11:30～12:30は窓口休業時間となります。
土・日・祝日 / 休業 12月31日～1月3日 / 休業

店外ATMのご案内(34箇所)

(2025年7月22日現在)

八戸市 イオンスタイル八戸沼館 八戸市立市民病院 八戸赤十字病院 八食センター ビッグハウス湊店 マエダストア日計店 ユニバース桔梗野店 ユニバース小中野店 ユニバース新井田店	ユニバース八戸ニュータウン店 ユニバース湊高台店 よこまちストア旭ヶ丘店 よこまちストア一番町店 よこまちストア新井田店 よこまちストア吹上店 ラピア 青森市 青森市役所駅前庁舎 いとく浪岡店	カブセンター大野店 ユニバース三内店 十和田市・三沢市 イオン十和田 ビードルプラザ ユニバース十和田東店 むつ市 大畑 マエダストア苫生店 むつ市役所	五所川原市・つがる市 イオン柏店第1 TSUTAYA五所川原店 上北郡 イオンモール下田 野辺地 六戸町役場	西津軽郡・北津軽郡 鶴ヶ沢ジョショッピングセンターパル 鶴田 三戸郡 五戸
--	--	---	--	---

※当金庫のキャッシュカードは MICS マークのある全国の金融機関でご預金を引き出しできます。
全国の信用金庫でお預入もできますのでたいへん便利です。また、セキュリティ性の高い生体認証付 IC キャッシュカードも選べます。
※上記コーナーには、他金融機関設置の共同コーナーを除いております。
※商業施設等の店内に設置している ATM につきましては、当該商業施設の営業時間外にご利用いただけない場合がございます。

● しんきんゼロネットサービス

全国の信用金庫ATMを、利用手数料無料でご利用いただけます。

曜日	ご利用時間帯	対象取引
平日	8:45～18:00	お預入・お引出し
土曜日	9:00～14:00	お引出し

※上記以外の時間帯および日曜日・祝休日のご利用では各信用金庫所定の手数料が必要となります。
※本サービスの対象とならない信用金庫ATMが一部ございます。

● あすなろネット

青森みちのく銀行とのあすなろネット提携により、提携金融機関相互において平日「8時から18時の出金取引」が無料でご利用いただけます。

平日	無料	110円
8:00		18:00 21:00
土日祝	110円	

※キャッシュカードによるお引き出し・お振込み、残高照会のご利用のみとなります。
※現金のお取引限度額等のご利用に関しては、お取引金融機関へご照会ください。
※各行所定の時間外手数料・振込手数料は必要となります。
※青森みちのく銀行以外の他金融機関のカード(ゆうちょ銀行含む)をご利用のお客は所定の手数料が必要となります。また、ご利用時間及び入金のお取引にも一部制限がございますので、ご注意ください。

当金庫で**年金・給与**をお受け取りいただいている方に

うれしい優遇サービス!

① 当金庫ATM **出金無料**

✓ 当金庫ATMでの出金時は、利用時間帯にかかわらず**回数制限なし**で手数料を**無料**とします。(入金は従前より無料です。)

② 提携金融機関ATM **入出金実質無料**

✓ 提携金融機関ATMでの入出金時に、手数料が発生する場合は、当金庫所定の1か月間で**最大3回**まで、手数料相当額を即時**キャッシュバック**します。

サービス開始日：2025年4月1日

提携金融機関 他信用金庫・都市銀行・信託銀行・地方銀行・第二地方銀行・信用組合・労働金庫・農業協同組合・ゆうちょ銀行・セブン銀行・ローソン銀行等※

※ 当金庫のキャッシュカードを利用できる提携金融機関ATMでの利用が対象となります。

優遇サービスの対象となるお客様

当金庫に預金口座を開設されている個人・個人事業主のうち、次のお取引条件①または②を満たすお客様

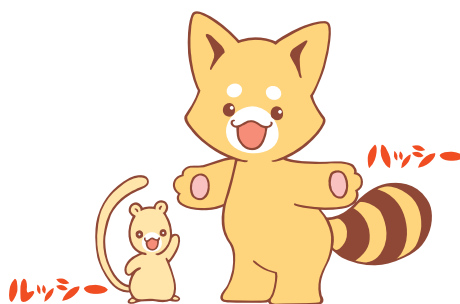
お取引条件①

- 年金の入金があること
- ※ 当金庫所定の条件・システムにより、年金として判別可能なものに限りします。
- 年金受取口座は当座預金および普通預金であること

お取引条件②

- 給与または賞与の入金があること
- ※ 当金庫所定の条件・システムにより、給与等として判別可能なものに限りします。
- 給与受取口座は当座預金および普通預金であること

詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。



青い森しんきんイメージキャラクター



〒031-0086 青森県八戸市大字八日町18番地
TEL.0178-44-2121

<https://www.aoimorishinkin.co.jp/>

青い森信用金庫 経営企画部 2025年7月発行



このディスクロー
ジャー誌は植物
油インキで印刷
しています。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

当金庫では、本誌「青い森しんきんの現況2025 ミニディスクロージャー誌」及び
「青い森しんきんの現況2025」を青い森信用金庫ホームページにて公開しています。
パソコン、スマートフォン、タブレット端末などでご覧いただけます。
<https://www.aoimorishinkin.co.jp/disclo.html#hr202503>

